

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2012
平成24年

12.15

おいしそうだね
田原産の野菜ツリー！

目次

「しみの広場」 2

広報サポーターだより「伝統の郷土料理」

中学生職場体験・鯉の放流

「たね」の「産直レシピ」

地域の話題

市民活動を応援するページ

スクールリポート 8

学校生活の一コマを紹介

たはらしティニュース 9

連載コーナー 10

おしらせ 12

歴史探訪クラブ 14



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 中学生職場体験・鯉の放流・産直レシピ…4ページ
- 地域の話題（泉校区）……………6ページ
- 市民活動を応援するページ……………7ページ

広報サポーターだより

伝統の郷土料理を通して地域の「食」を知ろう

皆さんこんにちは。広報サポーターの河合亜紀です。日本には四季があり、その土地ならではの料理や食べ物があります。新しい年を迎えるにあたり、田原市に伝わる郷土食を知っていただくきっかけになればと思います、11月9日に開催された田原市と新城市の「農村輝きネット」（地元農家の女性で構成）による郷土料理交流会の様子をご紹介します。

◇写真撮影の協力：広報サポーター 河合恵



あき
河合亜紀
(神戸校区)



れしぴ

いわしの団子汁

◆材料（5人分）

- ・カタクチイワシ 20尾 ・ネギ 1本
- ・糸昆布 3g ・ニンジン 20g
- ・シウワガ少々 ・豆味噌 大さじ3
- ・水 4カップ

◆作り方

①カタクチイワシは、手で頭・内臓・骨尾を取り、よく洗って水けを切り包丁で刻む。すり鉢ですりつぶす。

②糸昆布は水でもどす。ネギは小口に切り、ニンジンはみじん切り、シウワガは千切りにする。

③すり鉢の①の中に、豆味噌と②を入れ、よく混ぜる。

④鍋に水を煮立て、③を丸めて入れ、煮る。団子が浮き上がってきたら、出来上がり。



●じょじょ切り作りの様子



●じょじょ切り



●いわしの団子汁

同

じ東三河地域でも、海側と山側の郷土料理の違いは、どんなものでしょうか？交流会で出された料理で比べてみましょう。

◆田原市の郷土料理

田原市の郷土料理として出されたのは、「いわしの団子汁」と「じょじょ切り」です。

「いわしの団子汁」

は、地元で採れる新鮮な魚と自家製野菜を使った温かい汁物で、人気があります。渥美半島の海岸沿いの地域では、カタクチイワシが多く捕れたときは、この魚をすりつぶし、

団子や団子汁にしていたいただきます。イワシは栄養価が高く、安価なたんぱく源です。交流会の日は、サンマで代用されていました。

「じょじょ切り」の「じょじょ」は小麦粉で作る太めの麺のことです。じょじょきき切ることから、またはドジョウのような姿をしていることから、そう呼ばれたと伝えられています。あずきと一緒に甘く煮て、甘みとして食べる場合と、しょうゆ味の汁でご飯代わりに食べる場合があるそうです。（農村輝きネット・あつみが使用した郷土料理交流会の資料を参照）

比べてみよう 田原市と新城市

全国でも地域性の違いがある「お雑煮」の具材や、昔ながらの年越しの様子などについて比較をしてみました。

◆お雑煮の具材

◇田原市… のし餅（焼かない）・水菜・白菜・油揚げ・かまぼこ

◇新城市… のし餅（焼かない）・水菜（小松菜・白菜）・椎茸・ニンジン・花かつお

◆年越しの様子

◇田原市

大みそかの夜に尾頭付きの鯛を食べる習慣があります。大みそかに半分を食べ、元日に残りの半分を食べます。良いことや幸せなことが、次の年にも持ち越せるようにという意味で半分ずつ食べているのだとか。現在は、そのような家庭も少なくなったのではないかというお話でした。お正月の三が日は、お雑煮と地元で採れた野菜などの煮物を食べて過ごします。昔は各家庭で鶏が飼育されていたので、鶏肉を煮物の中に入れるなどしていたようです。

◇新城市

大みそかに足つきの塗りのお膳で、懷石のようなごちそうを食べます。それには、白和え（こんにゃく・こうたけ）、ぜんまいの煮つけ、なます、煮物、煮魚、茶碗蒸しなどがついています。食事が終わった後も、部屋の片隅に片付けずに置いておき、そのお膳で年越しそばを食べます。田原市と同じで、良いことを持ち越すという風習があります。



● だしの鮎



● 自然薯



● 自然薯のとろろ汁



● 郷土料理交流会の様子



● 交流会で出された料理

◆新城市の郷土料理

山間部にある新城市は、山の幸が豊かなところです。今回使用されていた「だしの鮎」（焼き鮎で前日から水出ししたもの）や椎茸も特産品のひとつです。交流会には「自然薯のとろろ汁」「椎茸の茎のさんぴら」「しょうがの佃煮」などが出されました。

「自然薯のとろろ汁」は、鮎のだし汁と干し椎茸のだし汁を7対3の割合で合わせて、塩・しょうゆ・酒で調味したもので自然薯をのぼしています。鮎を使っただし汁は、カツオやサバなどの海の物とは違い、あつさりとした味でした。一度焼いているため、臭みもなく香

ばしさがあり、何ともいえないおいしい味わいでした。

交流会は和やかに行われ、田原市の会員さんからは、みかんゼリーやブロッコリーのシフォンケーキ、サンマのお寿司なども振る舞われました。

交

流会にお邪魔して、いろいろなお話を伺い、とても勉強になりました。田原市でも地域や家庭によって、さまざまな食の伝承が行われていると思います。

現在、簡素化されている家庭も多いとのことでしたが、今年の年末年始を、もう一度食の伝承について知る機会にしてみたいかがでしょうか？



じょじょ切り

◆材料（10人分）

- 麺
- 小麦粉200g
- 水適宜（100cc程度）
- 汁
- あずき150g
- 塩少々
- 砂糖150g（お好みで調節）
- 水5カップ（あずきを煮る際の水の分量は含まない）

◆作り方

- 1 あずきを煮て、砂糖と塩で味をつける。
- 2 ボールに小麦粉を入れ、水を少しずつ混ぜながら、手のひらを使い耳たぶ程度の硬さになるようにこねる。
- 3 生地をまとめ、打ち粉をして、幅7cmぐらいで厚さ3mmぐらいになるように麺棒で伸ばす。5mmぐらいの間隔で切る。
- 4 鍋で水を煮立て、手でほぐしながら③を入れる。底に沈んだ麺が浮かんでくるまでゆでる。
- 5 ゆでた麺の鍋に①を入れ、味をととのえる。





働くことを学ぶ『職場体験』

皆さん、こんにちは。ぼくはキャリア教育として『職場体験』で、

田原市役所の広報の仕事を経験

しました。11月5日(月)から9日

(金)まで働き、『職場体験』をしてい

る中学生を取材してきました。



田原中学校2年 神谷侑人くん

取材を初体験！

サンテパルクたはらで職場体験をし

ている、河合綾乃さん(田原中学校2

年)と山本葵さん(福江中学校2年)に

『職場体験』について質問をしました。

●どのような理由でこの仕事を選びましたか？

『河合さん』動物関係のことが好きで、

将来の仕事のために活かしていきたい

からです。

●働くとは、どういうことですか？

『山本さん』自分も成長でき、周りの

人も笑顔になれるものだと思います。

取材をして感じ取れたことは、それ

ぞれしっかりとした夢や意志を持ち、

働くということの大切さを知って

いたということです。

取材から学び、仕事から学び、働く

ことを学んだこの5日間を無駄にしな

いように、今後の「未来」に役立てて

いきたいです。



●ボニーの世話をする河合さん



●花壇の手入れをする様子



●取材をする神谷くん(写真左)

ご利用ください

中央公園多目的広場 遊水池スポーツ広場

中央公園の未利用地を、市民の皆さんにゲートボールやグラウンド・ゴルフなどで利用していただけるように多目的広場を整備しました。また、遊水池スポーツ広場に、フットサルゴールを設置しましたので、ぜひご利用ください。



●多目的広場

ダスト舗装広場1面(120m × 90m)

※備品はありませんので、各自で
ご用意ください。

●遊水池スポーツ広場

ダスト舗装広場2面(44m × 25m)、ローラースケート場(200mトラック)

※備品はフットサルゴール1対で、
ネットは管理棟で貸し出します。

●利用時間

午前9時～午後5時(4～9月
は午後7時まで) ※月曜日休場

●利用料 無料

●利用申請

中央公園管理棟(テニスコート横)
で申請書に記入してください。



●多目的広場



●遊水池スポーツ広場

※18歳未満の方のみで利用する場合は、保護者の同意書が必要です。

●その他

電話での空き状況などのお問い合わせは可能ですが、利用の申し込みはできません。また、トイレ・水道がありませんので、中央公園管理棟をご利用ください。

▼中央公園管理棟 ☎22局0003
▼生涯学習課(田原文化会館内)

☎22局6061



▲鯉を放流する子どもたち

山田地区は、清田校区内でも最も自然豊かな地域で、地区には免々田川の水源地である清田池があります。

11月3日（土・祝）、山田自治会と子ども会で、清田池に鯉を放流しました。当日は、多くの子どもたちが集まり、普段は静かな池のほとりが、とてもにぎやかになりました。大きな鯉は体長70cmほどで、「わあ、大きい」と歓声が上がっていました。鯉をバケツに入れて、大事に運び池に放す姿は、とてもほほ笑ましく感じました。

鯉の放流は今回が初めてですが、来年以降も継続していきたい、子どもたちに生き物の大切さを学んでもらいたいと願っています。

山田自治会長
高橋信利さん

清田池に鯉を放流



「たね」の簡単＆おいしい『産直レシピ』

広報サポーターの「たね」が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、今回は「カブ」を使ったレシピをお届けします。

カブのサラダ

【材料 6人分】

- カブ 480g ●カブの葉 40g ●ツナ缶 1缶
- ニンジン 40g ●こしょう 少々 ●塩 少々
- すし酢 大さじ2

【作り方】

- ①カブは皮をむいて食べやすい大きさの3mmぐらいの薄切りにし、軽く塩をふっておく。
- ②カブの葉の柔らかい部分を選び、5mmぐらいに切り、塩をふっておく。
- ③ニンジンは細い千切りにしてゆでしておく。
- ④ツナ缶を汁ごとボールに入れ、こしょうとすし酢を入れ、よく混ぜる。ニンジンと水分を絞ったカブ、カブの葉を入れ、よく混ぜる。



カブは11月から1月の寒い時期が最もおいしい時期です。お漬物がされることが多いかもしれませんが、クリスマスにお正月にと、調理法を変えて味わってみてはいかがでしょうか？



煮込みすぎないことがポイントです！お好みでワサビを添えてもおいしいですよ。

カブのうすくず汁

【材料 6人分】

- カブ 120g ●昆布鰹だし 200cc ●カニかまぼこ 15g
- 塩 0.8g ●薄口しょうゆ 1g ●酒 3g ●くずまたは片栗粉 6g
- カブの葉または三つ葉 少々

【作り方】

- ①カブは皮をむき、8等分のくし切りにする。大きいものは、くし切りにしたものを半分にする。
- ②昆布鰹だしを鍋に入れ、火にかけて塩・酒で調味し、カブを入れる。
- ③カブの表面の色が少し変わったら、カニかまぼこ・薄口しょうゆを入れる。
- ④水溶きくず（片栗粉）を、カブを煮た鍋に入れ、とろみをつける。
- ⑤仕上げに、カブの葉または三つ葉を盛り付けて出来上がり。



▲地区対抗ドッジボール大会の様子



▲沿道花壇の花植え作業(石神交差点付近)

地域の話題

泉校区

世代を超えた人との結びつき

泉校区コミュニティ協議会から
安心安全なまちづくりの取り組みなどについて
お便りが届きました。



泉

校区は、田原市の北西部に位置し、8地区で構成されています。

地域の将来像である「安心安全でより住みやすいまちづくり」を実現するため、各地区が豊かな自然とそれぞれの特質を生かしながら、まちづくりに取り組んでいます。

隣近所の付き合いが深い地区

泉校区は、保育園から中学校まで1校区1園1校であることから、隣近所の付き合いが深く、世代を超えて人との結びつきを強く感じられる地区です。まちづくりの柱である「安心安全なまちづくり」の取り組みとして、環境美化活動、各種スポーツ大会、盆踊り、市民館まつり、子ども会活動などの行事を支援・開催し、交流を図っています。

環境保全と交通環境の現状

今年3月には、伊川津地区にある「泉が池」の周辺が一部整備されました。この池は、現在でも四季を問わず常に一定温度の湧水がみられ、当時の泉村の村名もここに由来すると伝えられています。湧水のほとりには神様が祭られ、自治会が中心になり、毎年祭事も行っています。

また、公共交通の空白地域となっていた地区の代替手段として、平成23年度から乗合タクシー「ジャンボタクシーいずみ号」の実証運行を行っています。乗合タクシーは今年度も実証運行され、今後は利用者の意見なども聞きながら、運行方法やその必要性について、さまざまな課題を検証していきます。

花と緑のまちをアピール

環境美化活動では、泉中学校前の国道259号などの沿道緑地帯や地区で管理している花壇の草取り、花植え作業を年4回実施しています。これは、色彩豊かな花や樹木を植えることで、渥美半島を訪れる皆さんに「花と緑のまち・田原市」をアピールしているもので、環境美化活動を通じた、地域住民同士のコミュニケーションも図られています。

個性のある住みよいまちに

泉校区は、個性のある住みよいまちを目指し、コミュニティ協議会と地域住民が連携を図り、これからのよりよい地域づくりに取り組んでいます。



▲実証運行中のジャンボタクシーいずみ号



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

OHP たはら

「言葉を文字で伝え、共生のまちに」

●平成24年度人材養成活動補助金採択事業

要約筆記とは、聴覚に障がいのある方への情報伝達手段の一つで、話の内容を要約し、言葉を文字で伝える筆記通訳のことです。主に難聴者・中途失聴者の抱えている社会的問題を理解し、さまざまな場面での手書き要約筆記によるコミュニケーション支援を行い、社会参加を促すお手伝いをします。

「OHP たはら」では、個人や団体から依頼された通訳から、研修会や市内小中学校福祉実践教室への講師派遣、さらに難聴者・中途失聴者との交流まで、20人の仲間が楽しく有意義に活動しています。現在は要約筆記奉仕員として活動していますが、平成26年度からの「要約筆者」資格取得への移行に伴い、今後の活動に向けた準備や研修を重ねています。今回、人材養成活動補助金を活用し、愛知県の要約筆記奉仕員養成講習会を受講しました。この講習で学んだ知識や技術を活かし、「共生のまち田原市」をめざして活動していきたいと考えています。



▲要約筆記奉仕員養成講習会を受講する会員

「共生」とは、性別や国籍、年齢、障がいの有無も関係なく、互いの人格や個性を尊重し合い、支え合いながら共に生活することです。

OHP たはら ◆代表 酒井 修

問い合わせ ▶ ☎ FAX 23 局 0544 ✉ sakai_@tees.jp

市民活動紹介

みどりの会

「傾聴で心ホットにリフレッシュ」

●平成24年度新規団体活動補助金採択事業



▲福祉施設を訪問し傾聴する会員

傾聴 ボランティア講座（平成23年度：田原市社会福祉協議会主催）を受講した仲間たちが集まり、今年の3月に「みどりの会」を設立しました。毎月1・2回、2・3人が一組になり、市内4か所の福祉施設を訪問し、傾聴ボランティア活動を行っています。

傾聴とは、目と耳と心で一生懸命聴くことです。相談委員やカウンセラーと違って、私たちが答えを出すことはなく、ただひたすら聴き役に徹します。そして「こんな思いを誰かに聞いてほしい」と思っている方の心を癒し、少しでも孤独感や不安感を和らげてあげられたらと考えながら日々活動しています。

活動を始めるにあたり、市の新規団体活動補助金を活用しました。

みどりの会では「守秘義務の厳守、そして謙虚に、いつも明るく」をモットーに、会員一同がんばっています。みなさんも傾聴を学び、一緒に楽しく活動してみませんか。

みどりの会 ◆代表 松本紀久枝 庶務 鈴木一志

問い合わせ ▶ 松本：☎ FAX 22 局 3364 / 鈴木：☎ FAX 22 局 1184 ✉ suzuki.kazushi@lemon.plala.or.jp

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

❷ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111（内線812）※ 開設時間のみ ☎23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 53
 学校生活の
 一コマを紹介

今回は、小学校での「ふるさと学習」「親子ふれ合い活動」の様子と、中学校での「人権を考える集会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

衣笠小学校「ふるさと学習」

郷土の偉人『江崎巡査』から学ぼう！

江崎巡査は、明治時代に渥美半島で発生したコレラの拡大を防ぐため、自分の命と引きかえに田原を守ってくれた警察官です。本校では、民話『コレラと巡査』をもとに台本を作成し、開校2年目に初上演し、平成6年度からは、学芸会で6年生が伝統劇『江崎巡査物語』を毎年演じています。江崎巡査の責任感や使命感のある生き方に触れることで、自分の将来について見つめていく場となっています。本年度、総合学習の一環として、江崎巡査について、田原警察署の方にお話を伺ったり、殉職の地へお参りに行ったりしました。「江崎さんやその周りの人たちの気持ちを考えることができました。これを学芸会に生かしたいです」と、江崎巡査への思いや物語を演じることへの子どもたちの意気込みが高まりました。



●江崎巡査の墓参りをする子どもたち



●みんなで協力して行った海岸清掃

亀山小学校「親子ふれ合い活動」

地元の海で親子で楽しく過ごそう！

10月27日(土)、西ノ浜海岸に出かけ、親子ふれ合い活動を実施しました。

秋晴れの下、海を眺めながら親子で食べるお弁当は最高で、休憩の後、親子で俳句を作りました。子どもたちは、家族からアドバイスをもらい、名句を次々と詠んでいました。海岸清掃では、30分ほどでペットボトルや空き缶・瓶など、トラック2台分のごみが集まりました。地元の海岸がきれいになってみんなの心もすっきり。最後は、自分たちで育てたサツマイモを焼き芋にし、おいしくいただきました。親子の弾む会話が聞こえ、楽しい一時を過ごすことができました。

福江中学校「人権を考える集会」

共に高め合う人間関係をつくろう！

10月17日(水)、福江中学校の全校生徒と校区内4小学校の5・6年生が、渥美文化会館文化ホールで「人権を考える集会」を行いました。

第1部は「人にやさしく」と題して、中学生の縦割り班による地域奉仕活動“サンキュー☆福江”と、ボランティアクラブ“ドリームの会”による活動報告を行いました。

第2部は「夢見る力を信じて」と題して、目の障がい乗り越えて演奏活動を続ける前川裕美さんを講師に招き、講演会を行いました。歌とピアノとトークを通して、「どんな障がいがあってもあきらめなければ夢は実現できる」という内容でした。前川さんの前向きな姿は、子どもたちに希望と勇気を与えてくれました。



●夢の実現について話をする前川さん

11月27日(火)

伝えていきたい
平和の尊さ

市政びーある講座「渥美半島の戦争遺跡」が開催されました。参加した市民25名

は、市博物館学芸員の解説を聞きながら市内に残る戦争遺跡をめぐりました。参加者からは「当時の物々しい雰囲気を感じた」「平和は本当に尊い」などの感想が聞かれました。



▲機動艦隊戦没者慰霊碑の前で当時の状況を聞く参加者(伊良湖町)

11月19日(月)

継続的活動で
環境大臣表彰！

自然公園関係功労者環境大臣表彰(田原市推薦)を受賞した特定非営利活動法人東三河自然観察会の梶野保光会長(豊橋市)が

市長を表敬訪問し、受賞の喜びを語りました。この受賞は、三河湾国定公園などでの自然保護啓発活動が評価されたものです。



▲「今後も地域の自然について、研究・解説活動に励みたい」と語った梶野さん(右) 田原市でも里山保全活動や環境学習の講師として活躍されています

11月15日(木)

訓練が実を結び
見事に入賞！

愛知県消防職員駅伝大会が愛・地球博記念公園で開催されました。消防職員の体力

錬成の一環として、毎年行われているこの大会。県内の53チームが5区間22kmのコースで熱戦を繰り広げ、田原市チームは3位入賞と健闘しました。



▲訓練で培った体力と精神力で、市民の皆さんの「安心・安全」を守ります

●田原中学校3年生の学習内容

クラス	内 容	
	9/18	10/2・30
A組	全体研修	コンパクトシティプロジェクト
B組		菜の花エコプロジェクト
C組		エコ・エネルギー導入プロジェクト
D組		エコ・インダストリープロジェクト
E組		グリーン・ネットワークプロジェクト
F組		省エネルギー推進プロジェクト
		廃棄物リサイクルプロジェクト

田原中学校では、毎年3年生が「たはらエコ・ガーデンシティ構想」について学習しています。今年は左表の日程で行われました。

9月18日は、学年全員で「たはらエコ・ガーデンシティ構想」の概要を学び、10月2日と30日は、クラスごとに、関連施設の見学や作業体験を行いながら、各プロジェクトについて学びました。

●世代を超えて引き継ぐ地域づくりを目指して！

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

79

▼エコエネ推進課
☎23局7401 FAX23局0180

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2128人・事業所81か所(11月末現在)

未来を担う子どもたちが、この学習を通じて自分たちの住む地域を知り、環境と共生する豊かで持続可能な地域づくりに貢献してくれることを期待しています。

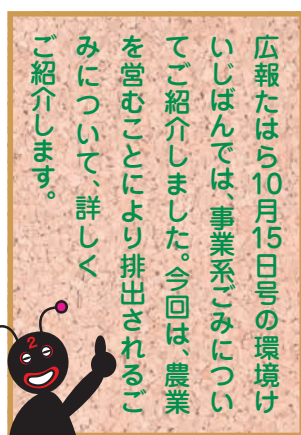


▲低炭素モデルハウスの見学
(3年E組の生徒たち)



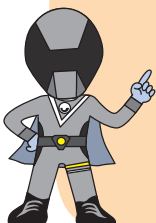
▲菜の花の作付け作業を体験
(3年B組の生徒たち)

- ◆事業系ごみ(農業ごみ)の処理
- ◆産業廃棄物：農業用ビニール、肥料袋、農薬の容器など
- 農業用廃プラスチックは、「田原市農業用使用済プラスチック適正処理対策協議会」が定期的に回収しています。ルールを守り、指定された処分場に搬入してください。
- ◆分別区分
- 1 農ビフィルム…透明の農フィルム、肥料袋、灌水チューブ、鉢、トレイ、育苗箱、農薬の容器など
 - 2 ポリ(PO)…軟質ポリ、ポリ系フィルム、肥料袋、灌水チューブ、鉢、トレイ、育苗箱、農薬の容器など
 - 3 その他…シルバーの農ビ、糸入りの農ビ、塩ビパイプ、ビニールハウス、サニールハウス、ラミネート袋、バックカー(金具を外す)、マイカー線、ネットなど



▼清掃管理課
☎23局3538 FAX23局0180

不法投棄や屋外焼却をした方には、5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、科せられる場合があります。



◆不法投棄と屋外焼却行為の禁止

不法投棄は犯罪です。産業廃棄物はもちろん、**事業系一般廃棄物**を**ごみステーションに出すことも不法投棄**になります。

また、**屋外焼却行為は法律で禁止**されています。健康や環境にも深刻な影響を与えるだけでなく、近隣住民の方にも迷惑をかけ、火災を引き起こす危険性もあります。

◆事業系一般廃棄物：電照栽培用電球、ダンボール、肥料の紙袋、農業用ビニールの紙芯など

直接、資源化センターに搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者に委託してください。

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

友好都市・宮田村で開催『りんごの木オーナー収穫祭』

りんごの木オーナー制度や物産展の相互出展などを通じて交流が続いている長野県上伊那郡宮田村を紹介します。

●収穫祭は人気の恒例行事

11月18日(日)・25日(日)の2日間、田原市の友好都市である宮田村で『りんごの木オーナー収穫祭』が開催されました。宮田村と田原市とで行われている「りんごの木オーナー制度」は平成10年に始まり、今年で15回目となる交流事業。毎年、田原市から多くの市民が収穫に訪れる恒例行事となっています。



▲にぎわう収穫祭の会場

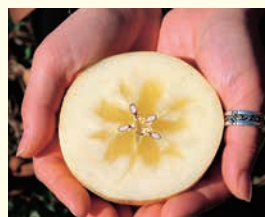
収穫祭当日、セレモニー会場では特産品のりんごジュースや、地元野菜などの販売が行われるほか、大人気の豚汁無料配布に長い行列ができるなど、多くの人で賑わいます。

●真っ赤に実ったりんごを収穫

収穫祭に続いては、お待ちかねのりんご狩りです。

農園に到着すると、真っ赤に実った美味しそうなりんごたちがお出迎え。立派に育ったりんごを一つ一つ大切に収穫します。ちょっと休憩しながら、採れたてのりんごを食べられるのも、りんご狩りの醍醐味。

甘い蜜がたっぷり!! ▶



▲りんごも思い出もいっぱい持ち帰り

もちろん、帰ってからも、しばらくの間はりんごが食べ放題。りんご三昧のぜいたくな毎日を過ごせます。

りんごの木オーナーの募集については、空きがあれば毎年3月～4月ごろ、広報たはらに募集記事を掲載していますので、ご確認ください。

りんごの木オーナーの募集については、空きがあれば毎年3月～4月ごろ、広報たはらに募集記事を掲載していますので、ご確認ください。

▶政策推進課 ☎23局3507



▲養成講座の様子。コーディネーター(写真左側)がボランティアに来た方々(同右側)を被災地の求める支援活動に振り分けます

◆どうしたらなる?

市では、毎年、養成講座を開催しています。現在までに199人

◆防災ボランティア

コーディネーターとは

被災地と、そこに集まった多数のボランティアとの間に立ち、被災地支援活動が円滑かつ効果的に進むように調整を行う方です。

こ

す。大規模な災害が発生すると、被災地には、さまざまなボランティアが集まります。今回は、防災ボランティアコーディネーターについてご紹介します。

防災ボランティアコーディネーターについてご紹介します。

防災ボランティアコーディネーターについてご紹介します。

けんちゃん

防災知恵袋

20



みんなで取り組む防災・減災

田原市防災ボランティアコーディネーター

が「田原市防災ボランティアコーディネーター」として認定されています。

◆受講している人は?

ボランティアに興味のある方や自主防災会の推薦を受けた方が受講しています。今後は、高校生などの若い方の受講も検討していきます。

◆有効期間は?

有効期間はありません。身に付けた知識が低下しないよう、認定後もフォローアップ講座(毎年開催)の受講をお勧めしています。

◆次の講座はいつ?

平成25年2月3日(日)・10日(日)の2日間で開催します。市内在住で、2日間とも受講できる方が対象です。

興味のある方は、防災対策課へお問い合わせください。

▼防災対策課 ☎23局3548



募集

WANTED

渥美郷土資料館企画展監視員

渥美郷土資料館で開催する企画展の展示室監視員を募集します。

▼募集人員＝5名 ▼採用期間＝平成25年2月1日（金）～3月17日（日） ▼勤務時間＝午前9時～午後1時または午後1時～5時（交替勤務） ▼勤務内容＝展示室監視 ▼賃金＝時給830円 ▼選考方法＝応募者多数の場合は、書類選考後、面接（期日など詳細は後日通知） ▼申し込み＝平成25年1月10日（木）までに田原市博物館に

ある履歴書に必要事項を記入のうえ開館時間内に提出（郵送不可）

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX23局3770

皆さんのアイデアでパンフレットを作成してみませんか？

市民活動団体を対象に、

「男女共同参画の視点からの防災」をテーマとした啓発パンフレットの企画提案を募集します。委託事業費は上限20万円です。



市民協働課へお気軽にご相談ください。

●応募方法

応募書類に必要事項を記入のうえ、市民協働課へ郵送または直接、直接持参する場合は、市民活動支援センターでも受け付けます。

●応募締め切り

平成25年1月7日（月）午後5時 ※必着

詳しくは、田原市民活動支援センターホームページをご覧ください。

●田原市民活動支援センターホームページ

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

▼市民協働課

〒441-3492 住所不要

☎23局3504 FAX23局0180

E kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市ホームページへの有料バナー広告

田原市の公式ホームページに掲載する有料バナー広告を募集しています。詳しくは、田原市ホームページ「[広告事業のご案内](#)」のページをご覧ください。

▼広報秘書課 ☎22局0138

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/city/ad/>

豊橋田原食育体験講座「地産地消のランチセミナー」参加者

～ホテルで味わう豊橋・田原の旬～

農業王国豊橋・田原で生産される旬の特選素材を活かした地産地消ランチをいただきながら、シェフや生産者の方からお話を伺います。

▼日時＝平成25年2月6日（水）正午～午後2時 ▼場所＝ホテルアークリッシュ豊橋 ▼講師＝酒井淳さん



酒井淳さん

ん（ホテル 総料理長）
ほか ▼定員＝25名

（申込者多数の場合は抽選） ▼参加料＝3500円（食事代） ▼申し込み＝平成25年1月16日（水）までにFAX・Eメール・はがきにて（参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記）

▼豊橋田原広域農業推進会議事務局
〒440-8501 住所不要

豊橋市農政課内

☎（0532）51局2464

FAX（0532）56局5130

E info_nosei@city.toyohashi.jp

HP <http://www.toyohashi-tahara.jp/>

頑張れ！田原っ子

全国大会などに出場を決めた方をご紹介します。今後の活躍に期待します！

◇全国小学生バドミントン選手権大会

（静岡県袋井市「12／23～27」）



◎T-Jump Jr.
志賀伊吹くん
（衣笠小学校 4年生）

生活

三河田原駅の駐輪場の位置を 1月中旬から変更します

三河田原駅周辺整備事業の工事に伴い、平成25年1月中旬から平成26年度工事完成までの間、駅併設の駐輪場の使用を停止します。

なお、停止期間中は、田原駅南公共駐車場内の無料駐輪場と、同所隣接の仮設駐輪場をご利用ください。詳しくは、現地案内看板でご確認ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼街づくり推進課 ☎23局3524



田原まつり会館を 1月から3月まで休館します

田原まつり会館を、施設の改修に伴い休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。



●休館期間
平成25年1月4日(金)～3月31日(日)
▼商工観光課 ☎23局3522

青少年の非行・被害防止に 取り組む冬の運動

イベントの多い年末年始を迎えるにあたり、解放感から青少年が有害な環境に接する機会が多くなること
が予想されます。青少年の非行・被害を防止するため、地域、家庭、学校が一体となり、青少年の健全な育成に取り組ましましょう。

▼スローガン「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」 ▼期間 12月20日(木)～平成25年1月10日(木)

▼実施事項 Ⅱパトロール、啓発活動、インターネット適切利用の推進ほか

▼生涯学習課
☎23局3531 FAX 22局3811



蜜蜂を飼育している方は 届出が必要です

養蜂振興法が改正され、「業」以外の趣味で蜜蜂を飼育している方も新たに届出が必要となります。ただし、次の場合は届出の対象外です。

●届出対象外の場合

- 農作物などの花粉受精のため、一時的に飼育
- 密閉構造の飼育設備で飼育
- 自然巣洞、重箱式巣箱など、反復利用可能な巣枠、巣脾を用いないで飼育し、蜂蜜などの販売をしていない

●届出時期

平成25年1月4日(金)～31日(木)

●届出窓口

農政課

●届出内容

飼育者の氏名または名称、住所、飼育場所、飼育群数、年間の飼育計画など

※詳しくは、愛知県ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



▼農政課 ☎23局3517

HP <http://www.pref.aichi.jp/chikusan>

胃・大腸・乳・子宮がん検診 の無料受診は1月末まで

がんは早期発見、早期治療が大切です。今、元気なあなただからこそ、がん検診を受けましょう。

▼期間 平成25年1月31日(木)まで
▼場所 市内指定医療機関もしくは検診車 ▼持ち物 受診券(5月中旬に郵送済) ▼費用 無料

▼その他 Ⅱ受診券を紛失された場合は再発行しますので、お問い合わせください。

▼健康課(市役所内) ☎23局3515
▼健康課(あつみライフランド内) ☎33局0386

DONATION

寄付

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼11月6日、コメリハード&グリーン赤羽根店長 濱田真也様から赤羽根保育園の緑化活動のため、花苗、プランター、培養土。

【お詫びと訂正】12月1日号のおしらせの20頁に掲載した「ハローワーク豊橋・田原」の年末業務については、28日(金)も開設します。お詫びして訂正します。

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
141



文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

縄文時代の巨大なマツリの場 保美貝塚のなぞ①

田原市には、縄文時代の終わりに作られた吉胡貝塚（国指定史跡）と伊川津貝塚（県指定史跡）、保美貝塚があります。これらの貝塚は、渥美の三大貝塚と呼ばれ、亀山町の川地貝塚を含め、縄文時代の人や墓の研究で大きな成果をあげ、渥美半島だけでなく日本を代表する縄文時代の貝塚として有名です。

最近はその中で保美貝塚（保美町）が、熱いです。それは、発掘調査

による発見や、過去に見つかった遺物の調査で驚くべきことが分かってきたからです。

保美貝塚は、3つの貝塚が円形に並んでいることが知られています。平成22年度に、その中心部を発掘したところ、驚くべき遺構が発見されました。それは、地面に掘られた直径1m、深さ0.7mの柱

穴が9個、円形に並んでいたのです。遺構とともに見つかった遺物は、縄文時代晩期後半（今から約2500年前）の、保美貝塚が最も栄えていた時期です。直径40〜50cmの柱の痕跡も確認でき、柱列の直径は7.5mほどでした。

このような遺構は、石川県いしかわの真脇遺跡、チカモリ遺跡など、主に北陸地方で見つかっています。東海地方では、このような木柱列の報告例はありませんので、発掘が進み徐々に穴が円形に並んだ時は信じられませんでした。木柱列は、高床式の建物や住居、トートム



●円形に並んだ縄文時代の柱穴（保美貝塚）

ポールのような記念物が考えられますが、定説にはいたっていません。

この遺構の重要なことは、北陸地方を中心とした地域でしか見つかっていない、分布地域が限られた巨大な建造物であることです。

北陸地方と同じ遺構が、なぜ突如として遠く離れた渥美半島に、それ

も保美貝塚で見つかったのでしょうか。北陸地方との特別な交流があったのでしょうか。また、このような巨大な柱を立てるためには、木の切り出しから運搬、埋めるための穴の掘削、柱を立てるなどの膨大な作業があり、多くの人が携わらなければなりません。保美貝塚のムラがいくら大きいといっても、現代の集落に比べれば小さく、ムラの人々だけで作ることには無理です。他のムラの人たちとの共同作業で作られたに違いありません。

なぜ、共同作業を行ってまで作らなければならなかったのか。なぜは深まるばかりです。

……その2につづく

（増山）

今月の
「表紙」

▼今月号の表紙は、産直レシビでおなじみの広報サポーターたねさんとの共同制作です。ポテトサラダで円錐の形を作り、ブロッコリーとミニトマトを飾れば、クリスマスツリーに大変身。アイデア一つで、食卓がもっと楽しくなることを教えていただきました。わが家でも作ってみたいと思います。（〇）

【表紙の写真】田原産の野菜などで作ったツリー